

市政の最近のできごとを紹介します。



美しい文化財を次世代へ

摂田屋地区の名所・旧機那サフラン酒製造本舗の蔵の鍔絵を修復しました。日本とイタリアの専門家が表面のごみを除去し、剥がれた部分を補強。「日本一」ともたえられる美しい姿を後世につなぎます。(10月25日～11月15日)



若者が思い描く、まちなかの未来

まちづくりをテーマに活動する4大学1高専の学生たちが「若者が訪れたくなるまち」を語り合いました。学生たちの自由な発想を講師の林匡宏さんがイラストで表現。若者の夢が詰まったまちなかの未来図を描きました。(11月2日)



原子力災害を想定し、防災訓練

国や県と連携して行った原子力防災訓練に、山古志・小国地域の住民が参加しました。屋内への退避の後、代表者約90人がバスなどで魚沼市へ一時移転し、汚染状況の検査などを実施。避難の一連の流れを確認しました。(10月29日)



オール長岡で創作オペラを熱演

市立劇場の開館50周年を記念し、河井継之助などの先人の逸話や民話を題材にしたオペラ「長岡物語」を上演。作曲や出演者など、全て長岡ゆかりのメンバーで創り上げた圧巻の舞台で、多くの観客を魅了しました。(11月19日)

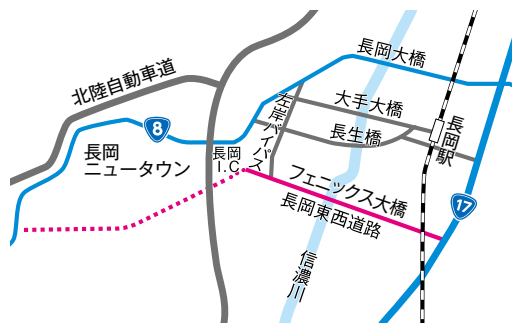


設立総会であいさつする磯田市長(11月13日)

フェニックス大橋4車線化へ期成同盟会を結成

国土木政策調整課 ☎39・2307

長岡東西道路の交差点改良やフェニックス大橋の4車線化などを目的とし、磯田市長を会長とする期成同盟会を結成しました。東西の市街地を結ぶフェニックス大橋の車の通行量は、平成25年の開通当初に比べて約1.4倍に増加。朝夕の通勤時間帯をはじめとした渋滞の緩和が求められています。磯田市長は設立総会で、「市民生活の利便性向上や地域経済の活性化、防災力の強化などに向けて、一刻も早い整備を実現したい」と述べました。市は今後、国や県に対し、同盟会を通じて早期の事業化を働きかけていきます。



中央浄化センターの敷地に設置した角度可変型太陽光パネル (11月14日)



中央図書館の壁面に設置予定の太陽光パネル (イメージ)

雪国対応太陽光パネルで 脱炭素・経済の好循環へ

再エネをビジネスチャンスに！
アイデア募集
内容＝公共施設や未利用地で①雪国に適した再生可能エネルギーの導入実験②太陽光発電設備導入のビジネスモデル 申し込み＝①12月15日(金)②28日(木)まで
▲詳しくはこちら

国が目標に掲げる「2050年カーボンニュートラル(二酸化炭素排出量の実質ゼロ)」の実現に向け、市は再生可能エネルギーの導入を進めています。
公共施設を活用し 実証実験スタート
雪国でも効率的に発電できる太陽光パネルの普及を目指し、公共施設を利用した実証実験が始まりました。

1/31(水)まで 脱炭素への第一歩
事業者の省エネ設備 入れ替えなどの費用を補助
対象＝高効率給湯器、空調設備、業務用冷蔵庫など 補助額＝対象経費の5分の1以内(上限10万円)
▲詳しくはこちら

実験の提案をした長岡技術科学大学と市内3事業者が、中央図書館などの公共施設や市道に順次、窓ガラス一体型パネルやソーラー街路灯などを設置。発電量の測定や耐雪効果の検証を行います。
得られた知見は、省エネ・再エネの普及に取り組み企業や研究機関と共有し、雪国ならではのエネルギー産業創出や脱炭素の加速につなげます。
環境政策課 ☎24・0528



自宅で暮らす障害者をサポート 緊急入所を24時間受け付けます

福祉課障害者基幹相談支援センター ☎39・2362

利用には事前の登録が必要です
相談支援事業所を通じて申請してください。障害の程度や介護者の健康状態など個々の状況を確認し、短期入所施設の体験利用などを経て、登録を決定します。
対象＝市内に居住する18歳～64歳の障害者

在宅で生活する障害者の緊急事態に備え、24時間対応の相談・支援体制を整備しました。障害者の状態の悪化や同居する介護者の急な病気などで、障害者が一時的に在宅生活を続けられないときに、施設への短期入所に速やかに対応します。事前に本人や家族と相談し、入所先や支援内容を計画。緊急時の円滑な支援につなげます。
在宅生活の不安を取り除き、障害者やその家族が安心して地域で暮らせるようサポートします。まずは相談支援事業所にお問い合わせください。